

繁殖の基本を抑える その1

(有)シェパード
中央家畜診療所

SHEPHERD

繁殖のお勉強(基礎編)

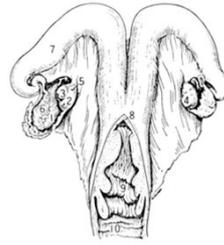
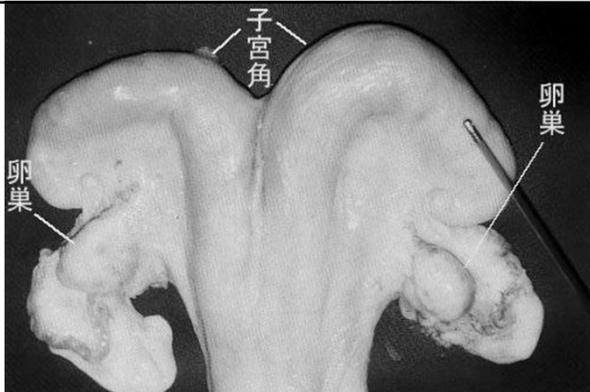


図 1.23 牛の子宮(背面) (Roberts, 1971 より)

- 卵を作る卵巣は左右1個ずつある。
- 牛の子宮は二股型
- 発情は20日おき
- 種付けから285日で分娩
- 雌しか子供を産まない

SHEPHERD



これが実物のナマ子宮

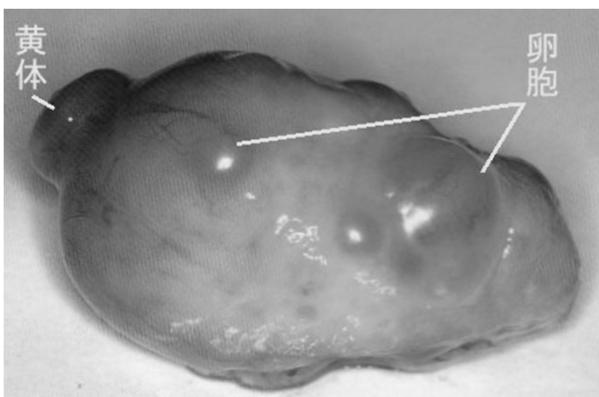
SHEPHERD

繁殖のお勉強(中級編)

ちょっとムズカシイけど、
きくだけきいてね

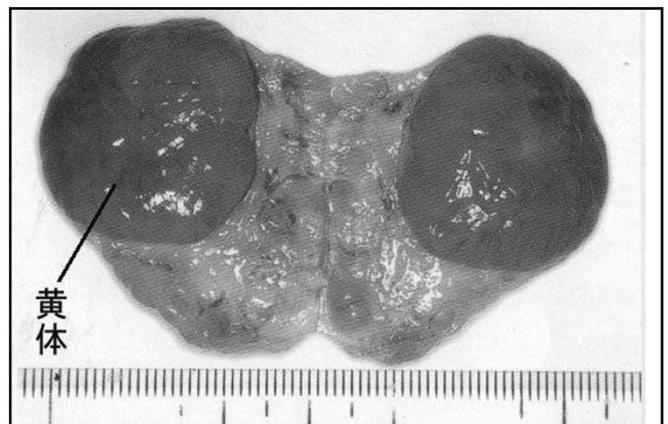
- 卵は卵胞という袋に包まれている。
- 発情終了後12時間程度で卵胞が破れて排卵する。
- はじけた卵胞は黄体という妊娠のためのホルモンを作る組織に変わる。
- 妊娠しなかった場合は、黄体は排卵後2週間で萎縮していく。

SHEPHERD



卵巣の拡大写真です

SHEPHERD



排卵後の卵胞は黄体に変わる

SHEPHERD

栄養面のお話し

繁殖の改善には栄養面からの
アプローチが断然有利

SHEPHERD

栄養管理は繁殖の基本

こういうケースで繁殖成績が落ちます

- ルーメン内の発酵異常
胃内で発生する毒素による肝機能低下やホルモン失調・蹄病多発
- カロリーの過不足
卵巣機能の低下・ホルモンバランス失調
- 乾物量の不足とストレス
ACHT・副腎皮質ホルモン・内因性PGの産生亢進→黄体形成不良
- タンパク質の利用が悪い
アンモニアが増えて受胎しない

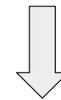
SHEPHERD

このような
問題はありませんか？

- 初回種付け時に卵もしくは卵巣が小さい
- 発情が戻らない
- 子宮収縮が悪い(子宮の回復が悪い)
- 黄体のできが悪い
- 発情は来るのに種がつかない
- 餌を変えたら足の悪い母牛が増えた

SHEPHERD

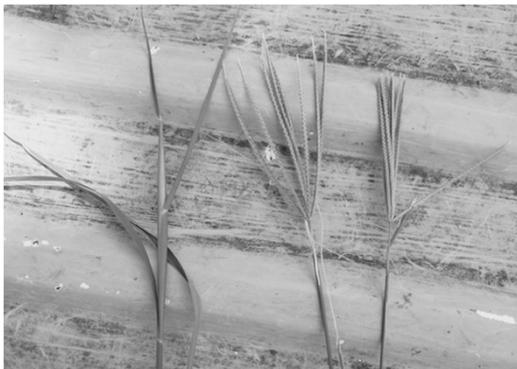
粗飼料の質が悪いと
第一胃の発酵が悪い



- 1, 繁殖成績全般が悪い
- 2, 子牛の体格が小さい

SHEPHERD

粗飼料の収穫時期



SHEPHERD



SHEPHERD

お母さん牛と炭水化物

刈り取り時期も重要！

- 収穫量は糊熟期での刈り取りが多い
- ただし栄養価は落ちる
- 栄養価が最も高いのは出穂前期
- 出穂前期に比べて
 - タンパクは半分に以下に低下
 - TDN(カロリー)は8割程度しかない
- お母さん牛が太る農場では糊熟期に、痩せる農場では出穂前期に収穫しよう

SHEPHERD



草丈がばらつく所や放牧場で、
草の上の方だけが食べない所は
硝酸体窒素汚染を疑う

分娩前の増し飼いが悪いと



発情回帰が悪い

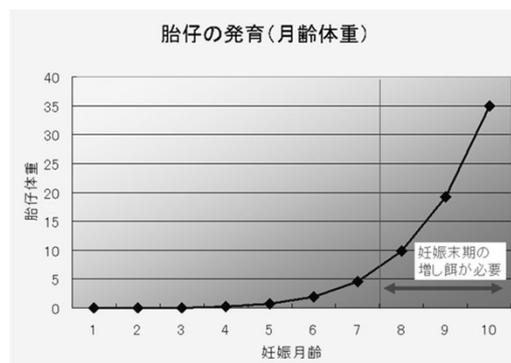
SHEPHERD

母牛の栄養管理

- 一般期・分娩前増餌・泌乳の増餌が意外にいい加減
- 飼養標準は「めやす」、BCSや体型*を考慮して
- 分娩前は2kg、泌乳期は3kgと、おおざっぱに覚えておき牛を見ながら調整
- 乾物量を大切にねっ！

SHEPHERD

母牛の栄養管理

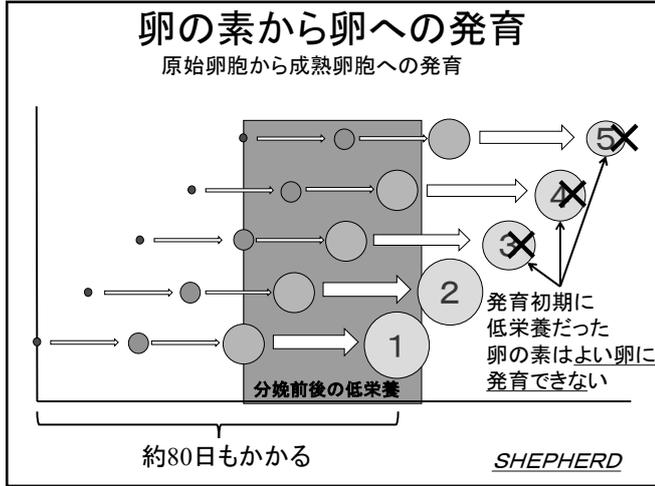


SHEPHERD

もうちょい詳しく言うと..

- 卵胞は発育に80日前後かかる
- 分娩前後の低栄養では大切な「発育開始期」にエネルギー不足
- 結果としていい卵が出来ないから発情も弱く受胎率も低い
- 子宮の回復も遅れる

SHEPHERD



分娩前のビタミンとミネラルが足りない

↓

子宮の回復が悪い

SHEPHERD

11, 今週はここまで!

お見逃し配信は、TELASAまたはHuLuで
(うっそでーす)

SHEPHERD